

自分の力を信じて、100%努力すること。

2018年、来日していたサッカーのスーパースター、クリスティアーノ・ロナウド選手の対応が紳士的で素晴らしいと話題になりました。C・ロナウド選手がイメージキャラクターを務める商品のイベントで、日本人の少年ファンが覚えてたのたどたどしいポルトガル語で質問をしていた中、会場から笑い声が沸き起こりました。その時、C・ロナウド選手は「なぜ笑うんだ？彼のポルトガル語は上手だよ」とフォローし、「一生懸命に話しているんだから、笑うことはないだろう」と大人たちをたしなめると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。そして、少年のたどたどしいポルトガル語を真剣に聞き取り一切笑うことなく、真剣に質問に答えていました。

この時の少年の質問は、「僕の夢は、将来あなたと一緒にプレーすることです。どうすれば夢が叶いますか？アドバイスをお願いします」というものでした。これに対してC・ロナウド選手は「自分の力を信じること。そして、100%努力すること。そうすれば、夢は必ず叶います。」と答えています。

多くのアスリートが目標を設定し、それを文字やことばにし表現しています。そして、その実現のために当然努力も必要です。今、皆さんには目標を設定し、夢を叶えるための100%の努力をする第一歩をしっかりと踏み出して欲しいと思っています。

さらにこの話には後日談があり、こちらは今SNSで話題になっています。実は、この時の少年は今年の第99回全国高校サッカー選手権大会で優勝した山梨学院高のメンバーである岩岡遼太選手です。この時、C・ロナウド選手にかけられたことばを大切にしながら、一途にサッカーに取り組んだそうです。「自分を信じ、そのための努力を怠らない。」

皆さんにもできるはずです。これから勝負です。

(文責 堀)

♪3年の窓♪

アシタヤロウハバカヤロウ

アシタ ヤロウ ハ バカヤロウ … 「明日やろう！は、馬鹿野郎」

皆さんは、こんな乱暴な言葉を聞いたことがありますか？

これは、私の大先輩である、お名前にまで「ロウ」がつく英語教師、〇〇ロウ先生が下さった言葉です。時間がかかること、気分が乗らないこと、いろいろと理由をつけては先延ばしにしてしまうことは誰にでもよくあることですが、私はそんな時にいつもこの言葉を思い出します。呪文のように呟くと、言い訳を考えることを一旦忘れ、とりあえず手を動かすことができます。

もう一つの魔法の言葉は、ナンデモカンデモヨ！です。

批判的にものをみる、論理的に考える、理由をきちんとつけて説明する。そんな力を身につける事が重視される世の中であり、それを育てる立場にいる私ですが、時にはこんな言葉も必要です。

なぜ？どうして？は大事ですが、ある程度の訓練を重ね、その力を自由に操れるようになることも同じくらい重要であり、その為には、何だかんだと言わずに手を動かす方が効率的なこともあります。

去年の今頃、3年生は評定に関わる2年生最後の考査に燃えていましたが、コロナの影響で中止になってしまいました。また、共通テスト後に大学個別の2次試験を取りやめる大学が出てきました。次に頑張ろうと思っても「次」が来ないことがあります。頑張っている姿を見てきたからこそ、そんな生徒をみるのは辛かった。だからこそ、1, 2年生に贈ります。今日という一日を大切に😊アシタヤロウハバカヤロウ♡ (文責 桑原)

『2年の窓』

探究ゼミお疲れ様でした。あと最後は学年末考査だー！

総合的な探究の時間では、学年発表会が終わりました。ゼミを始める当初の目的を振り返りましょう。

- (1) 大学で学ぶ学問や職業などについて考える機会とする。
- (2) 体験的な活動を通して、課題を発見する。
- (3) 仲間との討論の中から新たな考えや解決策を導き出すことを学ぶ。
- (4) 討論・プレゼンテーション・レポート作成など自分の考えを伝える力を伸ばす。
- (5) 研究内容が、大学の志望動機・入試の小論文を書く際に自分を表現するための専門知識として活用できるようにする。

1年間の活動の中で、この目的は達成できたでしょうか？自信をもって、自分の研究内容を相手に伝えることができるようになっていくことが大切だと思います。研究活動を通して自分の考えを深めることができましたか？外部との関わりを通して、普段接していない人とのコミュニケーションの方法を学ぶことができましたか？レポート作成や発表に向けて自分の考えをまとめ整理することができましたか？ゼミ内発表や学年発表会を通して自分の考えを相手に伝える工夫ができましたか？終わった後の振り返りを充実させましょうね。

さて、いよいよ学年末考査が近づいてきました。来年度はいよいよ大学入試など進路を実現する大切な時期です。その大切な時期を充実させるために2年生のことは2年生のうちにやっておきましょう。多治見高校が受験する大学受験の第一関門である共通テスト国・数・英の科目では2年生までの学習内容が出題されます。今学ぶことは受験に必要です。また推薦入試における学習成績は1年、2年、3年の3つの成績で決定します。そのうちの一つ、2年生での評価に結びつく大切な試験です。少しでも足掻いて学習に取り組み、良い成績を目指しましょう。

(文責 渡辺 完)

『1年の窓』

「水滴石穿」

水滴石穿(すいてきせきせん)… 小さな力でも積み重なれば強大な力になるたとえ。水滴でも同じ位置に落ち続ければ、石に穴をあけることができるというたとえから。

日常の活動を1とし、1年間365日継続した場合、 $1^{365}=1$ ということは明確です。

では、少しずつ積み重ねる1.01、逆に少しずつ手を抜く0.99を365乗すると、どうなるでしょうか？

$$(i) 1.01^{365} \approx 37.8 \quad (ii) 0.99^{365} \approx 0.03$$

元の数字同士は0.02しか違いませんが、毎日積み重ねることで上記のような差が生まれていきます。それが、2年、3年と続けばさらに大きな差を生み出すことになります。上で紹介した「水滴石穿」や「継続は力なり」という言葉はまさにこのことを示しています。

多治見高校へ入学して約10カ月で自分がどのように変わったか、また変わっていないことは何かなどの振り返りをするには、成長していく上でとても大事です。持論ですが、人間は最初と最後は誰でも頑張ります。世間的に2年生という学年は「中だるみ」と言われますが、慣れが生じ、このくらいでいいだろうという気持ちが生まれやすいからだと思います。最初に抱いた思いや決意を最後までやりきることは意外と難しく、全員がやり切ることが難しいからこそ、「努力」は尊いものであるとされ評価を受けるのです。

今年度学校へ来る日数もわずかになりました。順当にいけば進級し、2カ月後には後輩も入ってきます。今一度、入学当初あるいは多治見高校に合格したころの気持ちを思い出し、残りの日々を過ごしていただきたいと思います。

(文責：各務)